



わくわく 出水南

発行：校長 上妻 薫

10月 講話集会「どんなかんじかなあ」

明日は、交流集会です。おとなりの支援学校と出水南小学校の交流は、43年間続いていきます。火曜日は、4年生が交流のときに、支援学校のお友達と一緒にうちわを作っていました。また、出水南小の運動場では、高学年の皆さんが、ショップを開く準備をしていました。明日の交流集会所がうまくいくといいなと思います。きつと、支援学校のお友達にとっても、出水南小のお友達にとっても、楽しい交流集会となると思います。

さて、今日は、1冊の絵本を少しだけ読みます。

どんなかんじかなあ (中山千夏 ぶん 和田誠 え)

① ともだちのまりちゃんはめがみえない。

それで かんがえたんだ。みえないってどんなかんじかなって。しばらくめをつぶっていたら わかるかもね。うん、めをつぶってみよう。

② (みなさんも目をつぶってみてください。)

③ なんてたくさんいろいろな おと！

④ ぼくは おどろいて めを あげた。まえとおなじ しんとしたよのなかだった。だから まりちゃんにあったとき いったんだ。「みえないって すごいんだね。あんなにたくさん きこえるんだものね。みえるって そんなね。ちよつとしか きこえてないんだものね」まりちゃんは わらって、こういった。
「ひろくんって、かわってる」 (後略)

わたしたちは、たくさんのお友達に囲まれて過ごしています。自分と同じ人は、いません。お友達の気持ちは、わからないし、見えませんが、想像することはできます。「どんなかんじかなあ」と思いをめぐらせることはできます。考えることもできます。

熊日新聞コンクール 学校賞

夏休みに取り組んだ親子新聞でした。7月には、校内のこれまでの入賞作品を校内に掲示し、子どもたちが、先輩の作品のいいところを学び、自分の作品にいかしていきました。ご家庭のご協力も、ありがとうございました。子どもたちにとっても、大きな自信となりました。



↑支援学校の友達と一緒にうちわを作る4年生

普段から、お友達の思いや気持ちを想像してみよう。出水南小のお友達の思いや気持ちを想像してみよう。また、明日、本校にくる支援学校のお友達の気持ちも想像してみよう。そして、みなさんが、どんなふうにか動いたら、お友達は、嬉しいかなと思っ行って行動してみよう。

出水南校区 秋まつり 開催

10月6日土曜日午後12時30分より、出水南小の運動場で、秋祭りが開催されます。4年生のソーラン節も披露されます。校区を盛り上げようと自治会の皆さんの力を結集されています。大盛会となりますように。



↑運動場で準備をする高学年の児童